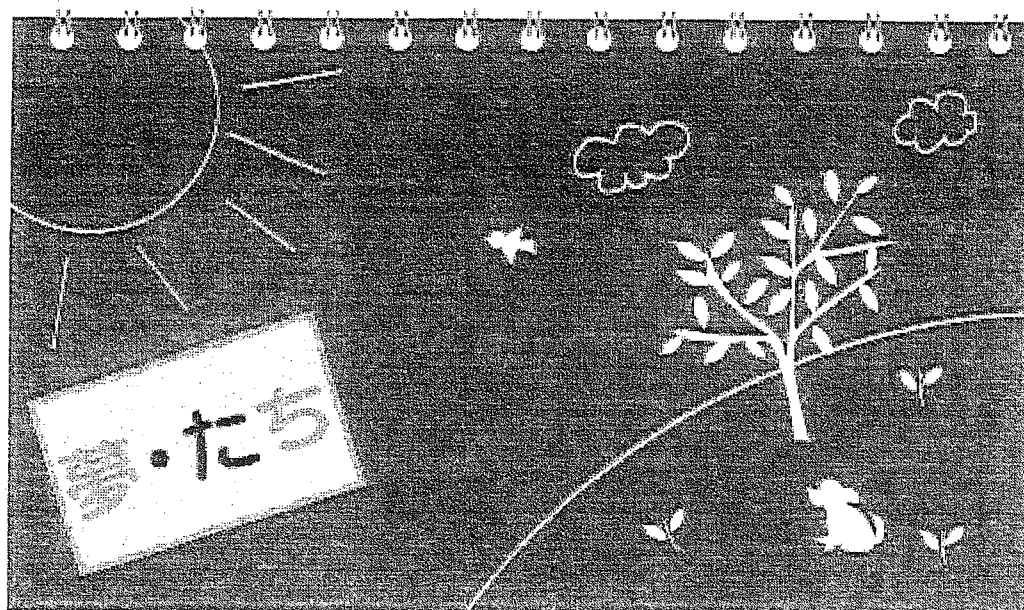




夢育で・たちがわ子ども21プラン

(立川市次世代育成支援行動計画)

平成17年3月

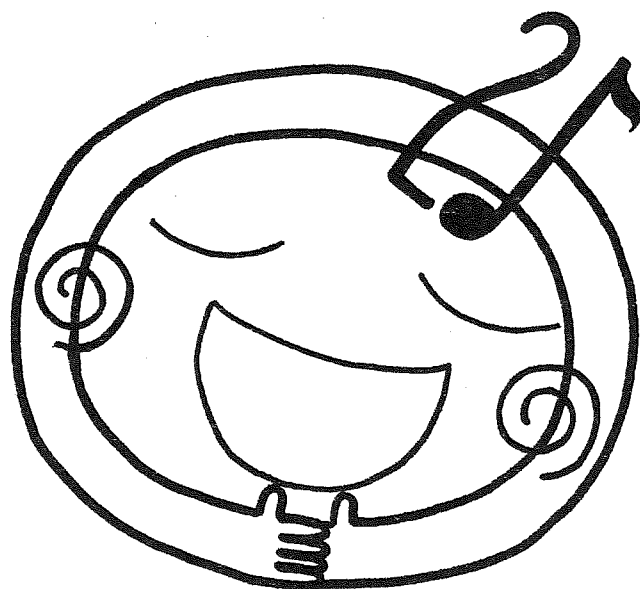
立川市

..... たちかわ子ども21基金（仮称）を創設する

目的	- 子どもに関わる事業を市民・企業・団体などが広く資金面などからサポートするしくみをつくり「まち全体で子どもの育ちを支える心」を育み、「子ども・子育てにあったかいまち たちかわ」の実現を目指す - この基金を《未来への投資》と位置づけ、有効かつ公平に利用し、広く経済面から〈子育て〉〈子育て〉を支援していく - 市民・企業・団体の「〈子育て〉〈子育て〉を支える」心を活かし、市民の資金が市民のために活かされていることを目に見える形にすることで、より多くの市民を基盤とした「子どもたちに心を寄せる団体・組織をつなぐネットワーク」づくりを推進する
概要	1 「夢育て・たちかわ 子ども21プラン」に盛り込まれるさまざまな事業や、子ども・若者・子育てを支える民間、非営利組織の事業、子ども自身の自主的な活動などを支援し実現するために、企業・団体・市民などから寄付を募り「たちかわ子ども21基金」を創設する 2 「たちかわ子ども21基金」設立準備委員会を立ち上げ、組織・内容・広報・集金・分配方法・報告の仕方等を具体的に決定する 3 基金のPR、基金事業の広報活動 4 基金は個人・企業などから広く集め、「子育て応援ステッカー」「子ども支援協力企業認定」などを行い、「子ども・子育てにあったかいまち たちかわ」づくりに参加している意識を広げ、共感を得ながら事業を継続する 5 当面は「基金」設立を目標とするが、お金という形だけでなく、資源（物品・人材）という形での提供も含めた多様なサポートシステムの構築を目指す
主体	「たちかわ 子ども21基金」（特定非営利活動法人）
実現へのステップ	ステップ1 1 「たちかわ子ども21基金（仮称）」設立準備委員会を発足する ・ 「たちかわ子ども21基金」の理念の確立・統一 ・ 事業目的、事業概要、組織、事業展開計画、具体的な行動計画作成 2 市民や企業にとって魅力的な事業案を提示する ステップ2 3 市民、行政、企業、NPO等をもとに設立委員会を発足させる ・ 基金の具体的内容・形態等を決定 ・ 基金の活用（補助）要項、施設、人、ネットワークの活用方法などを決定 ・ ボランティア、サポーター等、協力者を募る ・ チラシ、インターネット等を活用したシステムの構築 ステップ3 4 立川駅前、昭和記念公園、各地域商店街などでキャンペーンを実施（広報） 5 地域・職場・組合・商店街・企業などと相談し、それぞれにあった基金への参加のしくみ（多様な寄付方法を工夫）を作る
課題	・ 設立準備委員会をどのようなメンバーで組織するか

第2次 夢育で・たちかわ 子ども21プラン

(立川市次世代育成支援行動計画 後期計画)



夢育で・たちかわ 子ども21プランの
シンボルマーク

平成 22 年 5 月

立 川 市

たちかわ子ども21基金（仮称）を創設する

目的	- 子どもに関わる事業を市民・企業・団体などが広く資金面などからサポートするしくみをつくり「まち全体で子どもの育ちを支える心」を育み、「子ども・子育てにあったかいまち たちかわ」の実現を目指す - この基金を《未来への投資》と位置づけ、有効かつ公平に利用し、広く経済面から〈子育て〉〈子育て〉を支援していく - 市民・企業・団体の「〈子育て〉〈子育て〉を支える」心を活かし、市民の資金が市民のために活かされていることを目に見える形にすることで、より多くの市民を基盤とした「子どもたちに心を寄せる団体・組織をつなぐネットワーク」づくりを推進する
概要	「子育て・たちかわ 子ども21プラン」に盛り込まれるさまざまな事業や、子ども・若者・子育てを支える民間、非営利組織の事業、子ども自身の自主主体的な活動などを支援し実現するために、企業・団体・市民などから寄付を募り「たちかわ子ども21基金」を創設する 「たちかわ子ども21基金」設立準備委員会を立ち上げ、組織・内容・広報・集金・分配方法・報告の仕方等を具体的に決定する - 基金のPR、基金事業の広報活動 - 基金は個人・企業などから広く集め、「子育て応援ステッカー」「子ども支援協力企業認定」などを行い、「子ども・子育てにあったかいまち たちかわ」づくりに参加している意識を広げ、共感を得ながら事業を継続する - 当面は「基金」設立を目標とするが、お金という形だけでなく、資源（物品・人材）という形での提供も含めた多様なサポートシステムの構築を目指す
主体	「たちかわ 子ども21基金」（特定非営利活動法人）
実現へのステップ	ステップ1 「たちかわ子ども21基金（仮称）」設立準備委員会を発足する 「たちかわ子ども21基金」の理念の確立・統一 - 事業目的、事業概要、組織、事業展開計画、具体的な行動計画作成 - 市民や企業にとって魅力的な事業案を提示する ステップ2 - 市民、行政、企業、NPO等をもとに設立委員会を発足させる - 基金の具体的内容・形態等を決定 - 基金の活用（補助）要項、施設、人、ネットワークの活用方法などを決定 - ボランティア、サポーター等、協力者を募る - チラシ、インターネット等を活用したシステムの構築 ステップ3 - 立川駅前、昭和記念公園、各地域商店街などでキャンペーンを実施（広報） - 地域・職場・組合・商店街・企業などと相談し、それぞれにあった基金への参加のしくみ（多様な寄付方法を工夫）を作る
課題	設立準備委員会をどのようなメンバーで組織するか
平成 17 ～21 年 度の進捗 と今後の 展望	「たちかわ 子ども 21 基金運営協議会」が発足し、会則や基金を運営する仕組みについての原案を作成、趣旨に賛同する市民からの助成金、寄付を数件いただいた。しかし正式に基金運営委員会を発足させ、有効に活用するまでには至っていない。運営委員会発足に向けた最大の問題は、会を運営するスタッフが決まらないことである。 - 子ども自身が「取り組みたい」活動に対して、一日も早く支援ができるように、運営に関わる人材の掘り起こしが急務である。



第3次夢育て・たちかわ子ども21プラン

平成27(2015)年
立川市

143	青少年の地域活動への参加促進	◆充実◆
取組内容	地域行事やボランティア活動などに、高校生や大学生が参画しやすい環境づくりを進めます。また、地域と連携して、中学生・高校生によるジュニア・リーダー団体の自主運営を支援するとともに、地域において活躍できる機会の拡充に努めます。	市民 協働
担当課	子ども育成課、生涯学習推進センター	
主な事務事業	青少年活動奨励事業、子ども対象事業	
79	(再掲) 子育てサークル等の育成	◆継続◆
取組内容	子育てサークルの活動支援や児童館の親子サークル事業を通じて、親子のふれあいや親同士の仲間づくりを促進します。また、既存の子育てサークル等の紹介や情報提供、サークル間の交流を進めることにより、子育てサークル活動が地域の子育て支援活動に発展するよう支援します。	協働
担当課	子ども家庭支援センター、子ども育成課	
主な事務事業	子育て支援啓発事業、子ども未来センター管理運営事務(子育て支援啓発事業)、児童館民間運営事業	

②地域に根ざした子育て・子育て支援活動とネットワークづくり

144	(仮称) たちかわ子ども 21 基金 ⁽¹⁾ の立上げ・運営の支援	◆見直し・改善◆
取組内容	(仮称) たちかわ子ども 21 基金について、そのあり方や運営方法など、市民団体による検討を支援します。	市民
担当課	子育て推進課	
主な事務事業	夢育て・たちかわ子ども 21 プランの推進(事業実施関連)	
145	多様な事業主体の連携による子育て・子育て支援	◆充実◆
取組内容	地域が主体となった子育て・子育て支援を促進し、子どもの育ちを支えるという意識を高めます。また、企業や大学等の民間組織、地域の市民と連携し、地域の特性を生かした子育て支援の充実に努めます。	協働
担当課	子育て推進課、子ども家庭支援センター、男女平等参画課、産業観光課、協働推進課	
主な事務事業	夢育て・たちかわ子ども 21 プランの推進(事業実施関連)、子育て支援啓発事業、男女平等参画推進事業(たちかわ男女平等フォーラム、市民企画活動事業、意識啓発事業)、商店街活性化モデル事業、市民活動センター事業、子ども未来センター管理運営事務(市民活動機能)	
54	(再掲) 地域ボランティアの活用	◆充実◆
取組内容	学校において地域の教育力を活かすため、保護者や地域の中から学校支援ボランティアを募り、生活や学習の支援、部活動の指導、環境整備、登下校時の見守りなどにおける活用を進めます。また、ボランティアの育成・登録や学校との調整など、活用のしくみづくりを進めます。	市民 協働
担当課	指導課、生涯学習推進センター	
主な事務事業	地域ボランティア等活用、教育事業事務(中学校部活動支援事業、教育支援事業)、学校支援ボランティア事業、生涯学習市民リーダー登録制度事務	

(1) (仮称) たちかわ子ども 21 基金：第 1 次プランの策定市民委員会が提案した重点プロジェクトのひとつです。市民・企業・団体などが、子ども・若者・子育てを支える民間・非営利組織の事業や子ども自身の自主的な活動を広く資金面からサポートするしくみをつくり、市民が主体となって、「子ども・子育てにあったかいまち たちかわ」の実現を目指すものです(現在は未実施となっています)

第 4 次 夢育て・たちかわ子ども 21 プラン



令和 2(2020)年
立 川 市

夢たちコラム

ジュニア・リーダーをやってみて



皆さんはジュニア・リーダーについて知っていましたか？聞いたことありますか？ジュニア・リーダーとは、子どもと大人のかけはしとなり、地域を支えていく中高生リーダーのことです。

私は、小学生のころから子ども会に参加していたドッチボール大会でジュニア・リーダーを知りました。審判をしていたジュニア・リーダーたちは、あまり年の差もないのにとても大人っぽく見えてあこがれたのを覚えています。

また、ハケ岳キャンプで見たジュニア・リーダーたちは大人よりもずっと近い存在としてメンバーたちを見守りたのしませてくれていて、あんな存在になりたいと思いました。

しかし、その後ジュニア・リーダーとなり一番最初に感じたことは「大変」ということでした。ジュニア・リーダーは子どもの相手をするだけではなく、キャンプの企画からお祭りの手伝いまでやるのがたくさんありとても大変でした。

しかし、そんな考えもハケ岳キャンプに行ってから変わりました。自分たちで企画したレクリエーションで楽しんでいるメンバーたちを見てみると「やってよかった」と思え、ジュニア・リーダーとは、自分たちが楽しむのではなく人を楽しませるものなんだと知ることができました。自分たちが頑張ったことでだれかが笑顔になってくれるうれしさや達成感を知ることができたのです。

今ジュニア・リーダーをいっしょにやろうと言われても、一人でなんか始められないという人が多いと思います。私もそうでした。いっしょにやろうと誘った友達からの返事はみんな「みんながやるなら」というものでした。もし一人で悩んでいるのなら仲間を見つけて始めてみてほしいと思います。何も知らなくても研修会などに参加すれば、いちから知ることができま

す。

まだ私も、はじめて知ることばかりで大変ですが、自分の成長を感じることができています。誰かを笑顔にする力は、これからずっと役に立っていくものだと思います。

②地域に根ざした子育て・子育て支援活動とネットワークづくり

139	ウドラ夢たち基金との連携	◆新規◆
取組内容	市民団体ウドラ夢たち基金と連携して、市内の子どもたちの夢をかたちにする取組を進めます。	協働
担当課	子育て推進課	
主な事務事業	夢育て・たちかわ子ども21プランの推進（事業実施関連）	
140	多様な事業主体の連携による子育て・子育て支援	◆継続◆
取組内容	地域が主体となった子育て・子育て支援を促進し、全ての人が子どもの気持ち、意見を尊重した育ちを支えるという意識を高めます。また、企業や大学等の民間組織、地域の市民と連携し、地域の特性を生かした居場所づくりなど、子育て支援の充実に努めます。	協働
担当課	子育て推進課、子ども家庭支援センター、男女平等参画課、市民協働課、福祉総務課	
主な事務事業	夢育て・たちかわ子ども21プランの推進（事業実施関連）、子育て支援啓発事業 男女平等参画推進事業（たちかわ男女平等フォーラムほか） 市民活動センター事業、子ども未来センター管理運営事務（市民活動機能） 地域福祉推進事業	

夢たちコラム

ウドラ夢たち基金の誕生



わたしたちはたちかわの子どもたちが夢を形にすることを応援します。

「あつたらいいな、こんなもの」「できたらいいな、こんなこと」子どもたちのそんな願いを形にする取組を、資金面でバックアップします。

『夢育て・たちかわ 子ども21プラン』の理念「子どもたちの笑顔があふれ、歓声が聞こえるまちに」のもと、この思いと願いを共有してくださる同志を募り、大らかで広い心で子ども達を見守りともに歩んでいく団体として、ここに「ウドラ夢たち基金」を立ち上げます。

～設立趣意書より～

2018年4月18日、市民が立ち上げたウドラ夢たち基金は、同年4月24日立川市と「市民団体ウドラ夢たち基金と立川市の連携及び協力に関する協定」を締結。子どもたちの夢の実現のために基金を設立することは、2005年（平成17年）第一次プラン策定時に市民が実現する施策として書き込まれていた。

計画策定に関わった市民を中心に、このプランの実現を市民サイドから取り組む団体として「夢たち応援団」が組織され、その中に「基金設立準備委員会」も設けられた。しかし、残念ながら夢たち応援団は設立後10年を一区切りとして2016年度で解散。準備委員会が受け入れていた資金が宙に浮いてしまうことになった。

そもそも基金を構想したのは、計画づくりに関わる中で、子どもたちが発想した夢を実現するための資金面でのサポート。基本にあるのは、子どもの権利の尊重である。子どもたちひとりひとりが今を生きる対等の仲間であり、自分たちの発想や行動で世の中をよりよく変えることが出来ることを実感して欲しい。10年間動かなかった基金構想を具体化するために、旧夢たち応援団メンバーの他、地元企業や、理論的な後ろ盾となつてくださる学識の先生方に声を掛け、資金を受け継ぐことになった。

子どもたちから実現したい夢の提案を募り、プレゼンテーション、採否決定をしているが、行政からの補助金はゼロ。継続的な資金確保が困難なのは他団体と同様である。現在は地元企業等から寄付を集め、地域イベントでも募金を呼びかけているが、今後は何かしらのmake moneyの仕組みを考え出さなければいけない。

子どもたちの時間が細切れになっていることも悩みの種。採択に困るほど、実現したい夢の企画が、何人かで集まってやりたいことを案にまとめ、さらに実現にまでもっていくことは、今の子どもたちにはハードルが高い様子で、かなり手厚い伴走がないと難しいようだ。

実現事例の蓄積が、子どもたちにイメージと夢とやる気を持たせてくれると信じている。

第5次

夢育て・たちかわ子ども 21 プラン

令和7（2025）年度～令和11（2029）年度



令和7（2025）年

立 川 市

②地域に根ざした子育て・子育て支援活動の推進とネットワークづくり

137	ウドラ夢たち基金*との連携	◆継続◆
取組内容	市民団体ウドラ夢たち基金*と連携して、市内の子どもたちの夢をかたちにする取組を進めます。	協働
担当課	子ども政策課	
138	多様な事業主体の連携による子育て・子育て支援	◆継続◆
取組内容	地域が主体となった子育て・子育て支援を促進し、すべての人が子どもの気持ち、意見を尊重した育ちを支えるという意識を高めます。また、企業や大学等の民間組織、地域の市民・団体と連携し、地域の特性を生かした居場所づくりなど、子育て支援の充実に努めます。	協働
担当課	子ども政策課、子ども家庭センター、男女平等推進課、市民協働課、地域福祉課	
52	(再掲) 地域ボランティアの活用	◆継続◆
取組内容	学校において地域の教育力を生かすため、保護者や地域の中から学校支援ボランティアを募り、生活や学習の支援、部活動の指導、環境整備、登下校時の見守りなどにおける活用を進めます。また、ボランティアの育成・登録や学校との調整など、活用のしくみづくりを進めるとともに、地域と学校との連携を強化します。	市民 協働 応援
担当課	指導課、生涯学習推進センター	
53	(再掲) 学校・家庭・地域の連携	◆継続◆
取組内容	学校教育を通じてより良い社会を創るために、地域人材や物的資源を活用して、学校・家庭・地域が連携した教育を推進し、地域全体で子どもたちの成長を支えます。	協働
担当課	指導課	
139	子育て・子育て支援団体の活動情報の収集と発信	◆継続◆
取組内容	子育て・子育てにかかわるグループや団体の活動情報を収集し、既存団体や活動に参加したい市民等に提供します。	協働
担当課	子ども政策課、子ども家庭センター、市民協働課、生涯学習推進センター	
140	子育て・子育て支援団体のネットワーク化に向けた支援	◆継続◆
取組内容	子育て・子育てにかかわるグループや団体が交流する機会を設け、活動のネットワーク化を支援し、団体間の支援・連携、経験やノウハウの共有・活用を進めます。	協働
担当課	子ども政策課、子ども家庭センター、市民協働課	